



# 重誓寺報

第34号 平成28年2月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺  
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号  
電話・FAX 06(6951)0090

\*\*\*\*\*



研修旅行で、東日本大震災の被災地、宮城・岩手へ津波の被害を受けた地域を訪れました。仮設住宅に住む方々への傾聴ボランティアをされている方、津波で家族を失いながらもプレハブで家業の酒屋を再開させた方などのお話を聞かせていただきながら復興してゆく街を見ました。東北地方は元から浄土真宗のご縁が少なかつた地域なのですが、震災のボランティアなどで繋がりが出来、親鸞聖人の教えが少なからず被災した方々の拠り所になっていることを感じました。



実際に訪れると、至る所に工事車両が走り回り、まだまだ復興が進んでいません。また海沿いは高い堤防を作り、内陸は土盛りをして津波に強い街作りがされています。しかしそれは反対に、今までの風情や便利さ、人同士の繋がりが遮られるのでは無いかと危惧させられるところでもあります。

この世は無常であり、人の生活はいつ何があるか分からないものです。しかし夜明けに気仙沼港の向こうから昇る朝日を見て、無常の中にも、変わらぬ私たちが照らし続けて下さる暖かな光りに感謝の気持ちを感じました。

## 法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

椅子席でお参りいただけます。

### 常例法座

二月二十日(土) 二時、七時

講師 尾崎 道裕 師

### 春季永代経法要

三月二十日(日) 二時、七時

二十一日(月) 二時

講師 味府 浩子 師

### 常例法座

四月二十日(水) 二時、七時半

講師 藤岡 良治 師

### 親鸞聖人降誕会法要

五月二十日(金) 二時、七時半

講師 高澤 正文 師

## 心に残った法話のお言葉

仏教は仏様の教えに出逢うこととではあります。その目的は私が仏様とならせて頂く道を歩むことなのです。

(九月 巖水法乗師)

浄土真宗は、煩惱を捨てるのではなく、煩惱があるこの身このままで救われてゆくという宗教なのです。

(十月 三品唯典師)

私の心には鬼と仏様が同居しています。角を出したり、感謝したり。信心は私が信じることではありません。信心とは仏様の真の心なのです。

(十一月 不死川浄師)

苦勞は自分の力で乗り越えられるものです。しかしどうしても超えられないものを苦悩と言います。お釈迦様は、人生は苦悩であるとおっしゃいました。

(十二月 中西昌弘師)

## 親鸞聖人 和讃の教え

南無阿弥陀仏の回向なもあみだぶつ えこう

恩徳広大不思議にておんどくこうだい ふしぎ

往相回向の利益にはおうそうえこう りやく

還相回向に回入せりげんそうえこう えにゆう

(正像末和讃)  
しょうぞうまつわさん

阿弥陀如来が与えてくださった「南無阿弥陀仏」のお念仏によって、私たちはどこまでも続くいのちの世界に広がっていく徳をいただいています。私がお念仏によって浄土の仏と成らせていただくとともに、この世に還って仏として多くのいのちを導くはたらきが恵まれているのです。

昨年もいろんな方々とのお別れがありました。人との別れは辛く、避けて通れるものならそうしたいものですが、この世に生まれてきた限りは必ず通る道です。

しかし私たちは死んでお終しまいではなく、阿弥陀仏のお念仏のはたらきで、浄土に生まれさせていただくのです。また往生した私たちは、今度は仏として様々な方々を導くはたらきをするのです。

先日、桂春団治師匠の訃報は皆さんご存じかと思えます。平成二十年には重誓寺落語会にもご出演いただき、その名人芸を披露していただきました。師匠は多くのお弟子さんを育てて来られました。その話芸は今後も引き継がれてゆくことと思いますし、これからも師匠の思いは先人たちと共に私たちへ届けてくださることでしょう。



今年も五月二十二日（日）午後三時より  
重誓寺落語会を開催いたします。



重誓寺でお預かりした、盲導犬候補のパピーは現在で四代目となります。

初代のパドマは雪国で盲導犬として頑張っています。二代目のイソラは盲導犬にはなれませんが、新たな飼い主の元、薪ストーブの前で幸せそうに暮らす姿を写真で見せていただきました。三代目ウティルもこの度、訓練の後に中国地方で盲導犬として出発しました。

皆、同じように生まれてきて、同じように育てて来たつもりですが、やはりそれぞれ個性があり、適正も違ってくるようです。四代目ホークは、やんちゃで甘い性格ですが、今後どのようなように育ってくれるでしょうか。



2016年盲導犬カレンダーより



山門の両脇にある土塀が崩れてしまいましたが、徐々に下がり始め、危い状態になっています。塀の内部が木材で組まれており、それが腐ってきたようです。現在、建築会社に設計・見積もりをすて、工事が始まります。二ヶ月くらいかかると、お越したるお惑いなく、お願ひがいたし。



重誓寺 HP <http://juseiji.net> E-mail [info@juseiji.net](mailto:info@juseiji.net)

寺報はバックナンバーを含め、ホームページでご覧いただけます。  
ご意見、ご質問等がありましたら、メールでもお寄せ下さい。